



題字・イラスト：会員 加藤 比呂志

# 紺 碧

早稲田大学校友会 調布稲門会

調布稲門会 会報

2009.6 No. 30号

事務局 調布市下石原 3-62-1  
堀紙管轄内

Tel 042-498-0218

Fax 042-487-1154

編集責任者 香山 弘之

## 就任にあたって

会長 元木 勇

平成21年5月23日(土)に行われました、第28回の総会で会員の皆様のご推挙により調布稲門会会長の重任をお受けすることになりました。

本会は、言うまでもなく、会員相互の親睦を図る事を第一義とし、併せて母校の発展に協力すると共に、地域社会への貢献に努める事を目指しております。

調布稲門会を魅力のある校友会に育てるためには、総会・新年会といった定例的な会合への集まりだけでなく、スポーツ・趣味等を通して、先輩・後輩が触れ合う機会を多く持つ活動が活発に行われることが必要だと思われま

す。現在9つの同好会があります。同好会を通して会員相互の親睦の輪を広げていただき、それが会の活動の盛り上がりになります。

今年の活動方針にもありますように、会員の増員を図るために、地域在住の校友に当会の活動のPRに努め、入会を勧める諸策を講じ、また年末恒例の調布市福祉まつりバザーに引き続き参加し、地域の福祉活動に協力して参りたいと考えております。

新体制のもと、役員・幹事をはじめ会員・準会員の皆様のご協力を頂き、尚一層の組織の充実と明るく魅力のある校友会活動を目指して努力いたす所存です。最後に会員皆様とご家族のご健勝とご多幸をお祈りしてご挨拶いたします。



## 第28回定例総会 開かれる 新会長に元木勇氏を選任

山崎 正昭(昭34 商)

第28回定例総会が5月23日(土) 調布市文化会館「たづくり」で開催された。

本会は会員の年齢にも配慮し、日のある時間帯での開催とした。昨年より1時間半早め、2時30分の開会となる。

元木副会長を議長に選任、議事(会務報告、会計報告、監査報告、会務計画、収支予算案)に入り、原案通り承認された。また役員幹事の任期満了により役員改選を行い、新役員を選任する。

2005年5月から二期、4年間、会長として重責を

担われた河野瑠美氏から、新会長に選任された元木勇氏にバトンが引き継がれた

河野前会長は女性会長として、会を代表、顔となり内外の活動をリード、促進された。任期中には早稲田大学創立125周年記念募金活動の要請に応え、活動を率先、推進し、多とする成果を残された。また近隣校友会との親交を深め、内外の活動推進に尽くされた。肩の重荷が降りたと笑顔で挨拶され、職責を果たされた河野氏に、敬意と謝意をもって、元木新会長から花束が贈呈される。

来賓の早稲田大学 清水 敏副総長が挨拶で、大学の第二の建学に当たり現況を話される。

「18歳以下の人口減少により、高等教育の競争は激しくなる。学生数が減り、私大では存立の危ういところもある。早稲田は2009年の受験生は12万人を越し、9900人の新生を迎える。魅力ある教育の早稲田大学を目指し努力する。

2008年度 教職員の大学院 現職教師の再教育、初等教育養成、政治学研究 ジャーナリズムコースを創設。全学 基盤教育 基礎学力の低下に鑑み、英語、文章力、基礎数学・・・に力を入れる。

国際展開 競争もグローバルになる。留学生8000人計画 中野に寮 奨学金の充実を図る。日本語の習得を前提とせず、英語による授業 国際化に対応する。

優秀な学生を求め、2010年に高等学院に中等部、関西に2009.4から系属校。2010年 佐賀に系属校充実強化する。スポーツ面 野球、駅伝、ラグビーに期待。

アジアの早稲田、世界の早稲田、国際的評価を得られる早稲田に校友の支援を願う」

プロボクシング 元世界チャンピオン 柴田国明氏を招き、「私のボクシング人生」と題し、講演をお願いする。(講演内容 別稿)

懇親会の席では早稲田大学ハワイ民族舞踊研究会学生によるハワイアンダンスが披露され、校歌「都の西北」のダンスに関心を引く。プロ歌手による演歌、総当りの福引・・・イベントに興じ、応援部・チアガールのリードで校歌斉唱、昂然の意気で閉会する。



## 第28回総会講演概要

講演者 柴田国明氏 ヨネクラボクシングジム トレーナー

(元世界チャンピオン WBCフェザー級、スーパーフェザー級 WBAスーパーフェザー級)

### 『私のボクシング人生』

15年間のボクシング経験を通し、ヨネクラジムに入り、人間の出会いの大切さをつくづく感じた。他のジムに行っていたら世界チャンピオンには成れなかったと思う。米倉会長との出会いから、会長の嘘つきから始まり、世界チャンピオンに成った。嘘にも本当の嘘と、いい嘘がある。会長は私を見た瞬間

に、「柴田、チャンピオンになろう」と言葉を掛けて貰い、その言葉に乗った私がチャンピオンになった。チャンピオンに成れなかったら、会長は世界一の嘘つきだったと思う。

単純にボクシングは失敗の繰り返しで、最終的に失敗が成功すれば世界チャンピオンである。去年ト

レーナーとして、島田という選手を見ているが、教える立場の難しさを痛感し、壁に当たっている。選手の時常は常に前向きで、先制攻撃、勢いが大事である。その“勢い”が前回、バレロと島田の試合で、一瞬で無くなってしまった。それが去年たった一つの悔いである。バレロは凄く強い選手で、現在無敗、全てKO勝ちです。この選手に島田が挑んだのですが、勝ち負けは別にして、勢いを見せようと約2カ月、勢いのトレーニングをしたが、38歳の人生経験を豊富にした島田が、リングに上がる瞬間、「柴田さん、1R見ていいですか」という言葉が出てしまった。迷わせてリングに上げるのもいけないかと思い、島田に任せリングに上がった。1R 攻められ、2R 攻められ、3R・7RにKOされた。同じ負けでもヨネクラジムの伝統である勢いを崩してしまったのが、去年の私にとりたった一つの悔いである。勢いはヨネクラジムの伝統であり、今回、新しくジムの中に学校を作り、トレーナーを集めボクシングの原点を話している。

私は23歳で世界に行った時は“勢い”だった。当時、ビセンテ・サルジバルという世界チャンピオンがいて、無敗のチャンピオンで、確率から言えば8:2、私は西条正三のピンチヒッターでメキシコに行った。当然、勝てるわけがない、然し行くからには、勝たねばならない気持ちで行くが、どう見ても勝ち目がない。会長が「柴田、サルジバルと決ったので行くぞ」と一方的に試合を決められた。「会長、僕はやりません」「柴田、世界チャンピオンになる為に来たのだろう」「いま、腰が痛いからやりません」と話したら。「このチャンスは2度とこない。どうするのだ」「じゃ、やります」「じゃはいらない。やるかやらないかはつきりしろ」と言うことで返事をした。早めに入ろうということで、ロサンゼルスに向かう。報知新聞と日刊スポーツの新聞記者が二人来て、「柴田頑張て来い」との言葉を聞いた。その「頑張て来い」という言葉自体に勝ち目がない。「勝って来いよ」という言葉なら勝ち目がある。いなかのオヤジに電話しても、「国明、茨城県日立市の恥にならないように戦って来い」と、父の言葉にも勝ち目がない。

父の心の狭さ、日本のために頑張て来いというなら・・・それだけの俺かなと思いながら、飛行機に乗る。機中で会長が柴田、「このチャンスをものにしよう」羽田からロスまで13時間の機内での会話はたったこれだけ。「勝とうよ、人生を変えよう」と言う話だけ、「どうやったら人生が変わるの」、「勝てばいいんだよ」「どうやったら勝てるの」「打てばいいんだよ」、その打てばいい打ち方がわからない。それが永遠と独り言、話をしていない。「柴田、世界チャンピオンになったら人生変わる」勝ち方が分からない。米倉のいいところは、すでにイメージトレーニングに入っていた。昭和45年、独り言のイメージです。「柴田、俺は借金がある。チャンピオンになったら借金が払える。柴田、勝ってくれないかな。サルジバルはサウスポーなんだよな。俺が負けた青木もサウスポーで、柴田は勝ったよな。あれ何で倒した。「あれ右ストレートが当たりましたよ」「そうだよ、おまえの右ストレートが当れば、おまえ勝てるよ」私はその内に気持ちがかんぞんぞん乗ってくる。「おまえ桜井ともやったよな。桜井にもKO勝ちしたよな。柴田、おまえの右ストレートが当たったら絶対、世界一取れるよ」「世界チャンピオン成ったら、おまえ何が欲しい」。一瞬、「いい練習着が欲しいです」「練習着などチャンピオンになれば、いつでも貰えるよ」「家が欲しいです」「家も建てられる」「車が欲しい」「車もわかる」「世界一になったら全部思いどおりになる。リングの中に落ちているから」これが13時間 延々と・・・このイメージトレーニングは汗を出すトレーニングより、絶対に必要だ。「会長、俺の右ストレートが当たったら、チャンピオンを倒します」。さあ記者会見で、チャンピオンが来て、サルジバルの顔を見た瞬間、「会長、勝てません。強すぎます。カッコウいいです」「顔見るな」と会長は言う。何も言わず、風格から全て、無敗のチャンピオンだから。話もせず、心臓はどきどき、嫌だな、嫌だなと思いながら食事をする。練習はチャンピオンが3時、私は5時。チャンピオンの練習は見るのに有料、私は無料。チャンピオンと挑戦者の差、チャンピオンにならないと駄目なのだ。その練習から勝つため

の戦略が始まる。茨城県人は短気だ。絶対、勝つためにはどうしたらよいか。サルジバルのトレーナーと友達になれば情報が流れる。私は考えた。トレーナーはいつも後片付けをする。トレーナー（名前はゴンザレス）に挨拶し、試合が終わったら私のグローブを上げると話すと、彼は乗ってきた。サルジバルは柴田のことを警戒している。何々していると、全部情報が入る。一層、親交が深まり、二週間前にロサンゼルスから試合場のメキシコのティファナに移動する。お互いに今度は減量が始まる。私は日本では全てサウナで落としていたが、メキシコにはサウナがない。食べ物で落とさないといけない。水やコーラを飲んだりするとウェイト調整が出来なくなるので、金銭は会長に全部没収される。

約 12kg 落としている。落とすことが全てだったので、チャンピオンとは顔の様子をお互いに探り調子を窺う。顔のこけ方で苦しみ分かる。ゴンザレスがチャンピオンは今何 kg オーバーと日々情報を持ってくる。ゴンザレスは私の情報を聞いて、裏は私に賭けたい。おカネを賭ける。私に勝つのではなく、私が KO 負けするか判定負けするかを賭けている。このやろうと思いつつも、聞き流す。「柴田、15 ラウンドもつか」と聞く。失礼な言葉だ。俺は判定は絶対大丈夫だ。「柴田、KO されるな」裏で賭け事をしてるから正確な情報が来る。柴田の右を警戒している。ボディー攻撃を警戒している・・・情報が有利だった。試合当日は情報を聞いているので勇気百倍です。レフェリーは何を語ったのか分からない。チャンピオンの目だけを見て、「お願いします」と日本では最高の挨拶をすると、チャンピオンは軽くグラブを合わせてくれた。一歩下がってドンともろに当たった。1R 攻め、2R, 3R・・・1 3R TKO、人生が変わった。ボクシングはとんでもない選手でも、米倉会長の 13 時間の暗示で世界チャンピオンになってしまう。暗示を聞いた俺の右ストレートが当ればチャンピオンになれる。これも当たった。相手側の情報が入る。この三つが重なり番狂わせになった。新宿で号外がでた。直ぐ帰国してくれとの要請で、折角のメキシコ観光も、そこそこに帰国した。世界

チャンピオンになり、人生が変わったのは昭和 45 年 12 月 11 日、絶対に忘れられない日である。世界チャンピオンに成った初めての一発の感触は、いまだにこの背中に乗っている。会長は全てを実現してくれた。

日立に入る予定の人生であったが、ボクシングに目覚め、米倉会長に出会い、世界チャンピオンになったが、ベルトを取られると新聞は引退を報じる。然し輪島功一のように打たれて引退ではなく、俺はワンパンチで倒れる。何せ背は低く、手は短いので、入る瞬間に打たれると倒れ、入ったら倒すことになっている。そういったボクシングの形がある。柴田はア！で終わってしまう。指示も出来ない、諦めも早い。遠山コウさんがワン、ツウとカウントする。ダウンして寝ている。「立て」と言う。「遠山さん立てません」「話せるなら立て」と言う。数えながら話すのは難しい。また嘘をつく、「遠山さん担架を持ってきてください」医師が瞳孔検査をすると、瞳孔が反応する。本当に効いていると瞳孔は開いている。医者には嘘つけない。でも選手が頼めば担架を持ってくる。事務所で嘘つけないのは、膝ゴムハンマーで叩くと、上がってしまう。異常がない。吐き気がすると訴えると、救急車で慈恵医大に運ばれる。脳波を調べられ異常はない。このように最初の負けはインチキ、嫌な俺が世界チャンピオンになる。一回の負け、二回の負けがサルジバルの時に出た。負けて十勝の価値があると思う。あのまま勝っていたら、私は世界チャンピオンになれなかったと思う。22 戦目で初めて負けたドワイトホッキンズ戦、会長が「柴田、二人で世界一になろう」その時、会長と三つの約束をした。①酒を飲まない②タバコを吸わない③嘘をつかない。私は最初の負けで会長に嘘をついた。12kg の減量が苦しく、痩身薬を飲んでしまった。漢方薬だから身体に影響ないといわれて飲んだ。間違いなく体重がストーンと落ちた。日本チャンピオンのショウジヒロシと二人で飲んだ。ショウジの試合は私より一週間早かった。ショウジがイワタケンに負け、ベルトを取られた。ショウジは会長に「口がきたないから減量に失敗し、こんな結果になったの

だ」と怒られた。ショウジと一緒にトレーニングして、体重を量られた。痩身薬を飲んだので計量は上手くいった。「なあショウジ、柴田を見習え」会長は私を褒めた。然し私は会長に嘘をついていたので、喜んでいいのか、後ろめたかった。ショウジに「何故あの時避けられなかった、なぜ打たれた」と訊く。「避けられない、思うようにいかない」それが薬の勢だとはわからなかった。そのまま私はリングに上がった。ドワイトホウキンスが世界に入る試合だ。リングに上がった時、後援者は背中を見ると選手の調子がわかる。柴田は減量に失敗したのではないか、嫌な声が耳に入る。1R・・・5R 打たれ続けた。会長からは「何故避けない、何故打たない、何やっている」と叱られる。打たれて顔は腫れあがる。21戦、21勝、15KOの戦績で来ているから、打たれていない。腫れたところを打たれると、その痛さは言葉に尽くせない。私は6R 出る時に寝ちゃおうと思って出ているので、倒れた。その時のレフェリーが遠山コウさんだったので、倒れると「立ち上がれ」と声をかける。打たれずに倒れているので、自分も要領が悪い。後でビデオを見せられ、柴田、効いたパンチを教えろと訊かれ、嘘がばれてしまった。それで御殿場の仏舍利塔（米倉会長夫人の実家）に放り込まれた。一ヶ月間、心の洗礼を受ける。慢心と自信の違いを教えられ、初めて我が取れた。3年後にチャンスが来るから、その時、御殿場を思い出さないと励まされた。チャンスの時にこういった経験が集まってくる。ベルトを取られ引退。一通の激励の手紙。エディさんが近づいてきて、「ベストフレンドになろう」と声をかけられた。柴田の背中ゴミを取りたい（悪いところを治したい）三度目の挑戦時にエディさんと組み、世界チャンピオンのリカルドアルレロンドとやる。ボクシングをやっている、出会いの大切さを痛感する。米倉会長に会いチャンピオンになり、またエディータウンゼント会いチャンピオンになれ、常に出会いの中で私は新しいものが生まれ変わる。ボクシングはすごいスポーツだ。人を変える。亀田、内藤・・・いじめが問題になっているが、内藤は誰が見てもいじめられるタイプ

だ。亀田という悪が勝ったので、今の内藤が居る。ガッツ 石松は、顔はゴツイが、非常に気が弱い。根性を持たせるためにガッツの名を付けた。名前を変えるのも一つだ。ボクシングは人生を変える職種だと思っている。トレーナーの難しさは、小学生、中学生は素直に教えられるが、高校生になると教えにくい。いろいろな知識が入ってくる。戦略的なものしか教えにくい。ヨネクラジムの伝統を教えようとすると、今の子供たちには合わない。いじめはやってはならないことだが、いじめは大事なことだとも思う。いじめという言葉が悪いので、なにか言い方をないかと思う。私はファイティング原田が居たから、私が居る。ファイティング原田、海老原、青木カツヨシが居て、ボクシング界に入った。青木カツヨシに憧れて入った。原田がチャンピオンになった。原田が挑戦するエデルジョフレ、ジョウメデル、カバレロとやるために、笹崎ジムの会長から私に、パートナーとして呼びが掛かった。「柴田君、原田とタイプが似ているので、ジョフレとスパーリングをやってくれないか」4回戦のファイトマネーは5千円ですが、世界チャンピオンのパートナーに行くのと1万円貰えた。チャンピオンのエデルジョフレとやる時は怖いけど、おカネに欲が出る。チャンピオンのパートナーとしてファイトマネー以上のギャラを貰った。原田の相手のパートナーに、打たれる度にチャンピオンに聞きに行った。なぜ私のパンチが当たらないか。なぜミニクロスを喰うのか。全部教えてくれる。「ガードを出した時に、ガードが元の位置に戻らないから打たれる」「当たらないのは目に力を入れるからいけない。打つときには目の力を抜く」チャンピオンからのアドバイスはすごいノウハウだ。打たれて覚え、相手に聞きに行く勇氣、技を磨く早道だ。原田先輩の下で稽古をつけてもらい、おカネを貰いながらチャンピオンになった。歴代の世界チャンピオンで避け方が一番上手いのは柴田国明である。避けないと入れない。エディさんがいいアドバイスをくれた。あなたは神様にいい武器を貰った。短い刀を貰った。長い刀は要らない。短い刀が一番有利だ。入ったら短い刀で打ちなさい。グローブの下に

頭を下げていたら、簡単に入れる。グローブの正面にいるから打たれる。これがボクシングのノウハウです。これだけ覚えたら簡単に入れる。頭を下げていけば中に入れる。営業マンのコツです。威張って行ったら打たれるだけ、断られるだけです。ヨネクラジム ファイターのノウハウです。背が小さい、手が短い。正面から・横から入る。横から出る、横から入る。出たり入ったりする。背の小さいものは絶対に勝つ。

ヨネクラジムは世界一、60人のチャンピオンをつくっている。世界チャンピオン5人、柴田、ガッ

ツ石松、中島、大橋、川島と出している。あと東洋チャンピオン、日本チャンピオン。この教科書のマニュアルは全てこの柴田国明である。これを以って講演を終わらせて頂く。練習しないと勝てません。ヨネクラジムのボクシングは、とにかく練習、努力をする。努力は必ず報われると、エディーさんが言いました。「努力は神様の力です」 藤猛から始まって、海老原、柴田、石松、友利、井岡と6人の世界チャンピオンを育てた。全部、言葉のマジックです。米倉会長の昭和45年12月の試合前、13時間の言葉のマジック。私はいい師匠に出会った。

(録音テープ・記録 山崎)

## 紺碧の広場 会員エッセイ

### 佐賀の旅

相談役 笠原昌夫

この度、早稲田大学と佐賀県が連携して企画した三月十二日(木)～三月十四日(土)、二泊三日の明治維新の故郷佐賀の旅に参加した。

「薩・長・土・肥」と呼ばれ、維新を成し遂げた薩摩・長州・土佐・肥前の英雄達の働きについては歴史で学んで来た所であるが、肥前が佐賀県であり、鍋島三十六万石の大家家で、早稲田大学の開設者大隈重信侯を始めとする七賢人と呼ばれる偉人達について勉強する機会を得た。

旅行には早稲田大学百年史の編纂に携われ、多くの著書を持たれている佐藤能丸先生が同行され、宿泊宿の夕食前三十分間、二日に亘り大隈重信侯について講義され、大隈さんの生涯について詳しく知ることが出来た。

旅行には東京、佐賀から二十一人が参加したが、女性の多いのには吃驚、稲城稲門会の方(男性)の顔が見られた。

初日には大隈重信侯旧宅や記念館、江藤新平記念碑、佐賀城本丸歴史館(佐賀七賢人の見学)等を訪ね、市内最古の「あけぼの旅館」に一泊、十三日は佐賀城下ひなまつりを見学、鍋島家伝来の貴重な資料の展示に吃驚し、唐津市の名物鳥賊料理を堪能、奥村五百子(愛



国婦人会の創設者)の銅像を拝見、旧高取邸(国重文)、

曳山展示場を経て嬉野温泉へ、「華翠園」に泊まる。有田町並み散策（ドンバイ堀通り、辻精磁社）しん窯素晴らしい温泉で疲れを癒し、名物料理を頂く。出席者の自己紹介等で席は和み散会。



大隈重信旧宅（生家）

大隈重信は天保9年（1838）ここで生れる。武家屋敷の面影を残した貴重なもので、国の史跡に指定されている。

翌朝は嬉野茶工場（見学・買物）、九州陶磁文化館、見学、有田陶磁の里プラザ、佐野常民記念館を経て佐賀空港から帰京。同行者とも仲良しになり、勉強と観光の楽しい旅行だった。



大隈記念館

大隈侯誕生125年を記念して昭和45年11月落成。設計は早大名誉教授 今井兼次博士  
大隈侯の歴史資料を展示

## ☆ 星空を見上げて ☆

今年は、ガリレオが望遠鏡で、初めて天体観測をして400年。国連では「世界天文年」と定めています。経済危機や凶悪犯罪の増加等で、社会不安が深まるなか、宇宙のニュースは明るく楽しい話題であふれています。

最近では、「ハubble宇宙望遠鏡」の修理に危険が伴うとの報道にハラハラしたり、国際宇宙ステーションに長期滞在していた宇宙飛行士・若田光一さんの「おもしろ宇宙実験」に心躍らせた子どもたちも多かったのではないのでしょうか。また、今年7月22日に奄美大島などで観測される今世紀最大の皆既日食観測ツアーに参加される方もいらっしゃるかと思います。私が興味を持ったのは、4月23日に、米カーネギー研究所の大内正己研究員らの研究チームが発表した、“ビッグバンから8億年後のまだ小さかった初期宇宙に、銀河系の半径に匹敵する巨大なガス

涌田 みちる（昭58 理工）

雲があったことが分かり、邪馬台国の女王にちなみ「ヒミコ」と命名した”との小さい記事。宇宙について、観測が進み、解明が深まることは、宇宙観だけでなく、宇宙と密接に関係している人間観の深まりにも繋がると期待しています。

私は決して、天文オタクではありません。昭和58年に理工学部を卒業し、7年半、建設会社で普通のOLをしていた私が、星空や宇宙に、ロマンを感じ、興味を抱くようになったのは、退職後、高校で理科の非常勤講師をしていた時のことです。専門は化学でしたが、職場のニーズに応じて、生物・化学・地学を担当。OL時代のブランクがあったため、時間をかけて予習をし、毎回の授業に臨んだものでした。大人相手の企業と違い、顕微鏡でアメーバの動きを見て「すごい！」と歓声をあげたり、屋上で太陽の黒点を観測して感動しあったり、多感な高校生の反

応は、本当に新鮮で、私自身が、生徒とともに、もう一度、高校生活を経験しているような楽しい日々でした。教材研究のため、グラビア入りの科学誌や、科学関係のビデオを見たり、科学館やプラネタリウム等も見学に行き、授業のためというより、私自身が科学の楽しさにはまっていきました。10万円位の天体望遠鏡も買いました。この程度の値段の望遠鏡でも、地球の自転に合わせてレンズの方向を調節したり、画像を900倍まで拡大することもでき、土星の輪や木星の縞も見えました。ペルセウス座流星群、しし座流星群を、夜中に、わざわざ八ヶ岳のふもとまで友人と見に行ったり、中秋の名月は、家のベランダで家族とコーヒーを飲みながら見上げ、肉眼だけでなく、望遠鏡で、月面の様子も楽しみました。

行楽地で立ち寄って良かったスポットのひとつは、伊豆高原の宇宙美術館。岩崎一彰館長の描いた惑星の絵や写真が美しく、売店で1516年に中国江蘇省に

落下した小さな隕石をゲット、今でも大切にしています。また、野辺山電波天文台もおすすめです。年末年始以外は構内の自由見学ができ、日本最大の直径45mの電波望遠鏡には圧倒されます。宇宙空間からは様々な電波が飛んできていますが、銀河中心や人工衛星から特に強い電波が来ていることも体験観測できます。その他も、素敵だと思う様々なスポットがありますが、長くなりますのでこのくらいにします。

ブラジルの著名な天文学者ロナウド・モウラン博士は、「私たちが宇宙を見て、宇宙を勉強することによって、自分が宇宙と比べて、とても小さな存在だという謙虚さをしっかり学べば、その人間から生まれる力は、限りないものであると思うのです。」と述べられています。これからは、夏の星座が美しい季節。たまには夜空を見上げ、果てしない宇宙に思いを馳せ、英気を養ってみてはいかがでしょうか。

編集後記 手作りの会報編集に変わり、第6回目になる。パソコンが身近なものになり、ソフトの活用も楽になり、原稿の差し替え、訂正など、会報作りが手軽になった。

普段、顔合わせの機会が少ない会員の方々に、会の様子を伝えるメディアとして、会報「紺碧」編集に心している。

多種多様な人生経験を持ち、いろいろな趣味を楽しむ多くの会員に、紙上に登場願ひ、会員を知る紙面の充実にも努めたい。

**平成21年 稲門祭 HOMECOMING DAY**

平成21年10月18日(日)

**平成22年度 第29回 定例総会**

平成22年5月22日(土) 調布市文化会館「たづくり」 12階 大会議場



平成15年5月17日改定

## 調布稲門会会則

- 第1条 本会は調布稲門会と称し、事務所を調布市におく。
- 第2条 本会は会員相互の親睦を深めると共に、地域社会への貢献に務め、早稲田大学の発展に協力することを目的とする。
- 第3条 本会は調布市に在住、在職する早稲田大学の校友をもって組織する。
- 2 校友のファミリーは準会員になることができる。
- 第4条 本会に次の役員をおく。
- 会長 1名 副会長 若干名 幹事長 1名 副幹事長 2名  
幹事 若干名 監査 2名
- 2 幹事の中に 渉外・会合・会員増強・総務・企画・会計・庶務・広報・バザーの担当幹事をおく。
- 第5条 役員は総会において会員中より選出する。
- 2 役員任期は2年とし、再選を妨げない。
- 3 前条 第2項の担当幹事は、会長が幹事の中から指名する。
- 第6条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。
- 2 副会長は、会長をたすけ、会長に事故あるときは会長の職務を代行する。
- 3 幹事長は幹事会を司会し、母校校友会、三多摩稲門会、友好団体との連絡に当たる。
- 4 副幹事長は幹事長を補佐し、会の総合的事業計画及び会務の執行について協議しこれを処理する。
- 5 監査は業務及び会計の監査を行う。
- 第7条 本会は総会の議決により名誉会長、顧問、相談役を置くことができる。
- 第8条 本会は、毎年一回定期総会を開催する。ただし、会長が必要であると認めた時、または、会員の過半数の要請ある時は臨時総会を開催することができる。
- 2 総会は会長が招集する。
- 第9条 本会の会員の年会費は3千円とする。
- 2 準会員の年会費は1千円とする。
- 第10条 本会の運営に功績のあったと認められる会員または準会員に対し、慶祝金または弔慰金を支給することができる。
- 2 慶祝金または弔慰金の支給については、会長・副会長・幹事長の合議とする。
- 第11条 本会の会計年度は4月に始まり、翌年3月に終わる。

付 則 この会則以外の必要事項は役員会で審議し、総会で決定する。

京王線地下工事のツチ音

調布、布田、国領駅周辺で京王線地下工事が急ピッチで進められている。電車が工事現場に近づくと、軌道に響く音が、地下の工事現場に跳ね返り共鳴する。軌道は木道を走る様だ。軌道の下ではシールド工法によるトンネル掘削工事が進んでいる。

掘られたトンネルの壁には、6ピースに分割された壁が組み立てられ嵌めこまれ、トンネルが出来ていく。掘りながら連続的に仕上げていく先端のトンネル工事である。

2008年6月国領工事現場 立抗を見学する。直径6.85m×長さ8.12m 重量343t筒状の掘削機械が地下15mの所に組み立てられ、調布方面に向かい工

事が始まる。

上り線を調布に向かい掘り進む。大きな筒状の機械で、先頭部にカッターが放射状につき、回転させて掘り進む。掘り出した土石は、連続して後方に送られ、国領の立抗から排出される。

2009年1月 鶴川街道工事現場 立抗が一般公開された。ここでは調布駅以西の地下軌道が掘られる。

工期は2013年3月 完成の予定で、京王線との立体交差により踏み切りがなくなり、朝夕ラッシュ時の踏み切り渋滞は解消される。鉄道により分断された街の一体化が図られ、歩行も自由なゆとりある駅周辺の街路が待ち遠しい。(会報編集 山崎)

<p>思いをカタチにするそれを支える プロの技がここにあります 冠婚葬祭・出張料理・パーティ料理・会席料理 <b>アシサイワールド(株)</b> 電話 〇二〇、五五五、五八五 FAX 〇四二、四九九、七八八 http://www.asisai.co.jp</p>	<p><b>ギフト</b> <b>京王百貨店調布外商営業所</b> 住所 〒182-0024 東京都調布市布田一、四五、一 電話 〇四二、四八一、五七六一 FAX 〇四二、四八七、九〇一一 シエロビル四階</p>	<p><b>桜田倶楽部</b> 東京テニスカレッジ 会長 <b>秋山 一</b> 住所 〒182,0017 昭和22政経卒 東京都調布市深大寺元町二、三二、一 電話 〇四二、四八二、二二〇九</p>	<p>深大寺そば 創業文久年間 ～宴会・俳句会・御法事 <b>元祖 嶋田家</b> 住所 〒182,0017 東京都調布市深大寺元町五、十二、十 電話 〇四二、四八二、三五七八 FAX 〇四二、四九九、六六五五</p>	<p>リフォーム 外壁塗装・屋根塗装 <b>株式会社住まいるスズキ</b> 代表取締役 <b>鈴木 光孝</b> 〒182,0023 東京都調布市染地三、五、六五 電話 〇二〇、〇八〇、二四二</p>	<p>不動産賃貸 <b>中村不動産管理株式会社</b> 代表取締役 <b>中村 俊一</b> 住所 〒182,0035 東京都調布市上石原一、一〇、一 電話 〇四二、四八二、二〇三三</p>
<p><b>野村證券株式会社調布支店</b> 支店長 <b>松下 明希子</b> 住所 〒182,0024 東京都調布市布田一、三六、九 (京王線調布駅北口)</p>	<p><b>林建設株式会社</b> 取締役会長 <b>林 和男</b> 取締役社長 <b>林 清一</b> 住所 〒182,8512 東京都調布市小島町二、五六、三 電話 〇四二、四八六、一一一一 FAX 〇四二、四八六、一一二〇</p>	<p><b>堀紙管株式会社</b> 住所 〒182,0034 東京都調布市下石原三、六二、一 電話 〇四二、四八七、一一五一(代) FAX 〇四二、四八七、一一五四</p>	<p>新しい食文化を創る <b>株式会社山田屋本店</b> 代表取締役社長 <b>秋沢 淳雄</b> 住所 〒182,0024 東京都調布市布田三、一、一 電話 〇四二、四八二、四五八五 FAX 〇四二、四八二、四五七二</p>	<p><b>早稲田大学商議員</b> <b>早稲田大学調布稲門会</b> 会長 <b>元木 勇</b> 自宅 〒182,0003 調布市若葉町二、二二、一〇 電話 〇三、三三〇〇、四五五四(代) FAX 〇三、三三〇〇、八七二八</p>	